

## 令和5年度 第2回瑞浪市文化財審議会

日時：9月28日（木）15時00分～

場所：桜堂薬師(土岐町)、瑞浪市化石博物館（別館）

### 次 第

#### 1. あいさつ

#### 2. 審議事項

- 1) 桜宮神社芝居舞台の現状について [資料1]

#### 3. その他

- 1) 『瑞浪市の文化財』の改訂について [資料2]

## 桜宮神社芝居舞台の現状について

## 1. 屋根の破損について

## ①経緯

8月22日に地域住民から「屋根が抜けた」との連絡が入ったため、8月24日に桜堂区役員や桜堂薬師保存会会員等とともに現地確認。破損の原因は、経年劣化によるものと思われる。

## ②屋根の状況

- ・屋根に穴が開き、瓦が落下。
- ・屋根の北面にゆがみがみられ、端部には落下しそうな瓦あり。

## ③今後の対応

- ・桜堂区が、ブルーシートをかぶせる等の応急処置を実施。
- ・建物の今後の取扱いについては、地元で協議予定。

## 2. 芝居舞台の文化財的な価値について

## ①構造

木造平屋建て、幅 10.9m×奥行 7.3m、切妻造り、前面に六間の大梁  
棧瓦葺き、廻り舞台、格子窓

## ②建築年及び使用時期

- ・明治 14 年（1881）・・・舞台内部の銘板及び棟札より確認。
- ・聞き取りによると昭和 30 年ごろまで地歌舞伎が演じられていたとのこと。
- ・舞台としての使用が終了した後も地域の集会所（公民館）として使用された。

## ③文化財的な価値

- ・瑞浪市や東濃地方の民俗芸能の盛況ぶりを示す建築物。
- ・市内で最大規模の舞台であり、唯一廻り舞台が現存。
- ・本堂や桜宮神社とともに境内の歴史的景観を構成する建築物。

## 3. 今後の課題について

建物を保存するのであれば屋根の修繕を行い、雨水の侵入を防止することが急務と思われる。

また、以下の事項について方向性を考える必要がある。

①建物の用途の検討・・・今後どのように活用するか見通しを立てる必要がある。

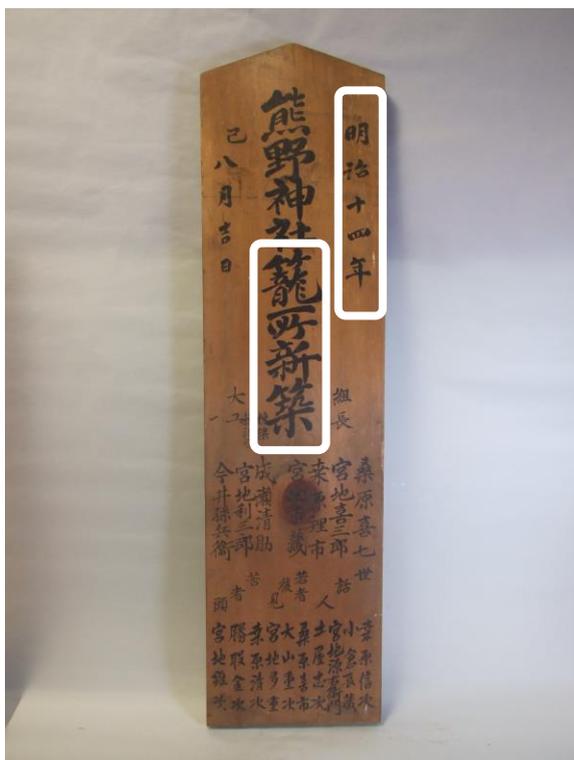
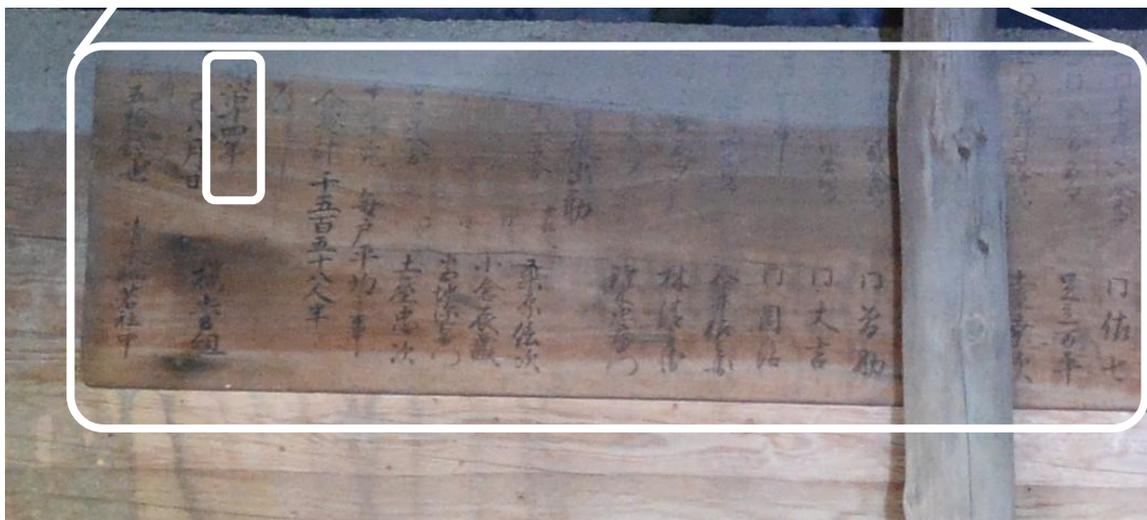
②屋根の修理費用の検討・・・

どのように財源を確保するか。文化財指定による市補助金、クラウドファンディング、まちづくり推進協議会のステップアップ事業 など

● 破損の状況



● 建築年が確認できる銘板と棟札（「籠所」は芝居舞台を指す）



●昭和期の舞台と歌舞伎公演の様子

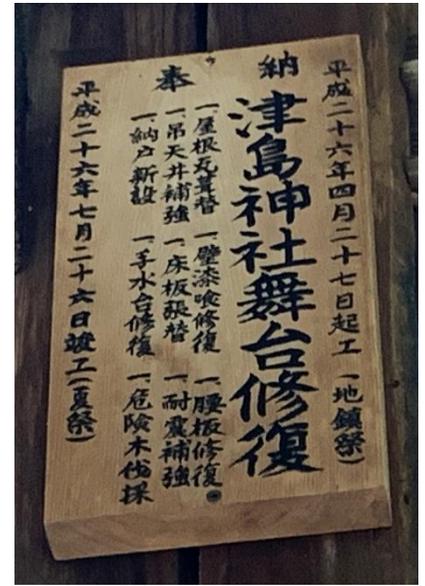


↑昭和40年頃か



↑昭和30年頃

● 舞台の修理・補強の事例（木ノ暮津島神社）



## 『瑞浪市の文化財』の改訂について

## 1. 改訂の理由について

現行版は、瑞浪市制 60 周年を記念して平成 27 年（2015 年）3 月に発刊したものである。それから約 10 年が経過し、新指定の文化財を掲載する必要があること、また新たな知見や修正点を反映するために改訂を行う。

なお、改訂版は瑞浪市制 70 周年を記念して刊行することを想定している。

## 2. スケジュール

現在、市内の巡視を行い、差し替え用の最新写真を準備中。今後は、下記のスケジュールで改訂作業を進め、令和 6 年（2024 年）10 月の発刊を目指す。

## 【今後のスケジュール】

令和 5 年 10 月  
～令和 6 年 3 月

差し替え用写真の撮影

+

解説文の原稿作成(既刊の確認・修正含む)



4 月上旬

文化財審議会委員に素案を配布



4 月中旬～6 月上旬

素案の修正・回収



6 月中旬～7 月

文化財審議会で修正案を確認(必要に応じて)



8 月

印刷業務の契約



9 月

印刷校正作業(必要に応じてゲラを再配布、修正・改修)



10 月

納品・配布・発送